

[花き部門]

3. ブルーレースフラワー新品種「岡山BLF1号」の育成

[要約]

従来品種に比べ、枝が横へ広がらない立ち性の新品種「岡山BLF1号」を育成した。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 野菜・花研究室

[連絡先] 電話086-955-0277

[分類] 技術

[背景・ねらい]

市販のブルーレースフラワーは、枝が横へ広がるため収穫に手間がかかり、需要はあるものの生産量が減少している。そこで、枝が横へ広がらず作業性の良い品種の育成を行う。

[成果の内容・特徴]

1. 2002年に市販品種から優良個体を選抜し、2004年～2007年にかけて系統選抜を行った。2008年～2010年に特性調査、栽培試験により形質が固定していることを確認した。2011年に現地試験で有望性を確認し、品種登録申請を行った。
2. 「岡山BLF1号」は、市販品種と比較し、平均開花日は若干遅く、草丈は短い。花の大きさや花数は、市販品種と同等である。分枝角度は、市販品種より小さく立ち性である。枝数は、市販品種より若干少ない（表1、図1）。
3. 現地試験の結果、枝が横へ広がらない特性が確認でき、切り花長も十分確保できた。しかし、玉野では摘心時期が遅くなり、切り花長を80cm確保できなかった（表2）。生産者からは、栽培、収穫が容易との評価を得た。

[成果の活用面・留意点]

1. 市販品種より草丈が短いため、2月～5月播種の作型では、草丈が短くなる可能性がある。
2. 短日期の栽培では、電照による長日処理が必要である。

[具体的データ]

表1 「岡山BLF1号」の特徴

品種	平均開花日 (月日)	草丈 (cm)	花径 (cm)	花数 (個)	分枝角度 ^x (°)	枝数 (本)
岡山BLF1号	4月19日	101.3	4.5	54.3	18.0	11.9
市販品種1	4月12日	123.4	4.9	56.7	32.3	12.7
市販品種2	4月15日	125.6	4.8	57.8	30.7	13.3

耕種概要) 播種：2009年9月16日、定植：11月2日、摘心：有（3本仕立て）

加温温度：10℃、電照：暗期中断（22時～2時）

^x最下部側枝と主茎との間の角度

表2 「岡山BLF1号」の開花時期と切り花品質（現地試験）

試験地	栽植密度 (本/m ²)	摘心	立茎数 (本/m ²)	開花時期	切り花 長 (cm)	茎径 (mm)	側枝数 (本)	最長 側枝長 (cm)	花径 (cm)	切り花 重 (g)
倉敷市	8.3	無	8.3	5月下旬	104	9.6	18	77	5.1	244
	8.3	有	24.9	5月下旬	80	5.5	5	52	5.0	47
玉野市	16.6	無	16.6	6月中旬	105	10.0	16	89	4.5	237
	16.6	有	49.8	6月中～下旬	76	6.5	5	48	4.5	35

耕種概要) 播種：2012年1月6日、定植：2月24日（倉敷）、3月3日（玉野）

摘心：3月14日（倉敷）、4月27日（玉野）、3本仕立て

加温温度：10℃（倉敷）、2℃（玉野）、電照：定植直後から暗期中断（22時～2時）



図1 切り花（左：新品種、右：市販品種）

[その他]

研究課題名：1) ブランド化を目指した特産花きの品種選抜と栽培法の改善

2) ブルーレースフラワー新品種候補の現地試験

予算区分：県単

研究期間：1) 2008～2010年度、2) 2011～2012年度

研究担当者：土居典秀、森義雄、藤本拓郎、綱島健司、中島拓

関連情報等：1) 平成22年度試験研究主要成果、57-58

2) 平成23年度試験研究主要成果、59-60

3) 土居ら(2012)、品種登録出願 第27156号